【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-521926(P2008-521926A)
【公表日】平成20年6月26日(2008.6.26)
【年通号数】公開・登録公報2008-025
【出願番号】特願2007-544521(P2007-544521)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/196　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/196
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　 9/10
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/04
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　27/02

【手続補正書】
【提出日】平成20年9月5日(2008.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
局所的に投与可能な眼用組成物であって、該組成物は、
ａ）０．０９～０．１１％（ｗ／ｖ）のネパフェナク；
ｂ）０．４～０．６％（ｗ／ｖ）のカルボマー；
ｃ）非イオン性界面活性剤；
ｄ）該組成物に２５０～３５０ｍＯｓｍ／ｋｇの重量オスモル濃度を持たせるのに十分な量の張度調整剤；
ｅ）該組成物に７．０～７．８のｐＨを持たせるのに十分な量のｐＨ調整剤；および
ｆ）水；
から本質的になり、該組成物は保存剤およびキレート剤からなる群から選択される成分を必要に応じて含む、組成物。
【請求項２】
前記組成物が０．１％（ｗ／ｖ）のネパフェナクを含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記組成物が０．５％（ｗ／ｖ）のカルボマーを含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記カルボマーがアリルスクロースまたはアリルペンタエリトリトールと架橋されたアク

リル酸重合体である、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記非イオン性界面活性剤がチロキサポールである、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
前記組成物が０．０１％（ｗ／ｖ）のチロキサポールを含む、請求項５に記載の組成物。
【請求項７】
前記張度調整剤が金属塩化物塩およびマンニトールからなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
前記張度調整剤が塩化ナトリウムおよびマンニトールを含む、請求項７に記載の組成物。
【請求項９】
前記組成物が０．３～０．５％（ｗ／ｖ）の塩化ナトリウムおよび２～３％（ｗ／ｖ）のマンニトールを含む、請求項８に記載の組成物。
【請求項１０】
前記組成物が０．４％（ｗ／ｖ）の塩化ナトリウムおよび２．４％（ｗ／ｖ）のマンニトールを含む、請求項９に記載の組成物。
【請求項１１】
前記ｐＨ調整剤が、塩酸および水酸化ナトリウムからなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項１２】
前記組成物が７．３～７．７のｐＨを持つ、請求項１に記載の組成物。
【請求項１３】
前記組成物が保存剤およびキレート剤の両方を含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項１４】
前記保存剤がハロゲン化ベンザルコニウム；ポリクオタニウム－１；および二酸化塩素からなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項１５】
前記保存剤が塩化ベンザルコニムである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１６】
前記組成物が０．００５％の塩化ベンザルコニウムを含む、請求項１５に記載の組成物。
【請求項１７】
前記キレート剤がエデト酸二ナトリウム；エデト酸三ナトリウム；エデト酸四ナトリウム；およびジエチレンアミンペンタアセテートからなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項１８】
前記組成物が０．００１～０．１％（ｗ／ｖ）のエデト酸二ナトリウムを含む、請求項１７に記載の組成物。
【請求項１９】
患者における眼の炎症障害を処置するための、請求項１に記載の組成物。
【請求項２０】
局所的に投与可能な眼用組成物であって、該組成物は、
ａ）０．１％（ｗ／ｖ）のネパフェナク；
ｂ）０．５％（ｗ／ｖ）のカルボマー；
ｃ）０．０１％（ｗ／ｖ）のチロキサポール；
ｄ）０．４％（ｗ／ｖ）の塩化ナトリウム；
ｅ）２．４％（ｗ／ｖ）のマンニトール；
ｆ）該組成物に７．３～７．７のｐＨを持たせるのに十分な量のｐＨ調整剤；
ｇ）０．００５％（ｗ／ｖ）の塩化ベンザルコニウム
ｈ）０．０１％のエデト酸二ナトリウム；および
ｉ）精製水

から本質的になる、組成物。